

市長がみなさんの話を聴きに  
みなさんのもとへ飛び込みます！

移動市長室

## 岩見沢のまちづくり市長と話してみませんか

移動市長室は、市民の皆さんと市長が膝を交えて語り合う場です。町内会やサークル、老人クラブなど、少人数の集まりにも市長が伺い、希望するテーマで意見交換をしますので、お気軽にお問い合わせください。

移動市長室では、個人的なお話や宗教に関するお話はご遠慮ください。

問合せ先 市秘書課秘書係



### 東日本大震災 被災者支援活動報告

## 被災地で支援活動を行って

#### 医療救護班 岩見沢市立総合病院 外科医長 上泉 洋

3月26日から4月2日まで岩見沢市立病院医師・看護師各2名、薬剤師・事務員各1名のチームで気仙沼市に派遣されました。避難所の循環診療では、かぜや高血圧、アレルギー性鼻炎などに対する診察や投薬が主な内容でした。劣悪な環境にもかかわらず元気に頑張っている方が多く、皆で支え合っていました。家族が流されている方もおり、手を握って励ますことくらいしか出来ませんでした。市職員の健康管理も行ってきましたが、レトルト食品やカップラーメンなどの食事内容と、疲労からか軒並み血圧が高い状態でした。市民を支える屋台骨としても健康を損なわないように指導しました。すぐ近くに凄まじい津波の爪痕があるにもかかわらず、避難所や市役所では淡々とそれぞれの生活や役割を果たされていました。我々の医療支援は微々たるものでしたが、東北の人の根強さ、支え合う暖かさを感じることが出来ました。

多くの方の支援で、この活動を行うことが可能になりました。感謝です。

復興までは長期を要すると思われ、感染症や精神的疲労が増えると予想します。継続的医療支援が重要と思われます。

#### 保健師の派遣 健康福祉部 健康推進課 健康指導係長 石井 みどり

5月6日から10日まで、盛岡市の避難所で被災者に対し、保健師として健康相談業務を行いました。私が担当した避難所には、釜石市、山田町、大槌町などから250人ほどの被災者が来ていました。食事3食食べていましたし入浴も毎日可能で、生活環境的には整っていましたが、避難生活が長引いており集団生活によるストレスのせいか、発熱、不眠、血圧上昇、めまい、けん怠感など体調不良を訴える方が多くいました。また、家がすべて流されていて、今後の生活の見通しが立たず、不安を感じている方もいました。

安全な場所に避難して来ているものの、片道2時間半かけて自宅のがれきを片付けに行っている人や、津波で眼鏡、入れ歯、補聴器などが流されて「新調したいので、病院の場所を教えてほしい」と相談される方もいて、生活必需品のはずなのに2か月経ってようやく考えられるようになったのだなと感じました。

元の生活に戻るまでには、まだまだ時間がかかりそうですが、一日も早い復興を願います。